

(10) 底びき網主要対象種生態調査

予算

大阪府資源管理協議会委託事業

概要

府内の小型底びき網（石げた網）の重要漁獲対象種であり、近年不漁が続くシャコについて着底種シャコ分布調査を行った。また、石げた網標本船の漁業日誌により、日別のシャコ漁獲量をモニタリングした。シャコ分布調査では、一昨年には及ばないものの、昨年比べて8月から9月にかけての生残が良かったとが示唆された。標本船調査では一昨年のような漁獲量の急増はなかったが、9月以降も漁獲が継続した。

調査方法

2017年5月、8月、11月、2018年2月に大阪湾全域に設けた20定点（調査時水深8.6～46.4m）で、2017年7月、9月、10月には上記20定点のうち大阪湾東部海域の10定点（調査時水深9.6～24.1m）で小型底びき網の一種である石げた網（幅1.8m）を使用し、シャコの採集を行った（図1）。石げた網には着底後間もないサイズ（体長約20mm）のシャコも採集できるように、魚獲り部（網の最後部）の網目の一片の長さが約6mmのカバーネットを装着した。各点の調査では2丁の石げた網を曳網し、曳網時にはハンディGPSで曳網距離を記録した。入網物は水産術センターに持ち帰り、シャコを選別した後、個体数の計数および体長の測定を行った。各定点の採集個体数は曳網距離から10,000m²あたりに換算した。また、石げた網標本船の漁業

調査結果

図1～3のとおり。

担当者

大美博昭、山中智之、木村祐貴

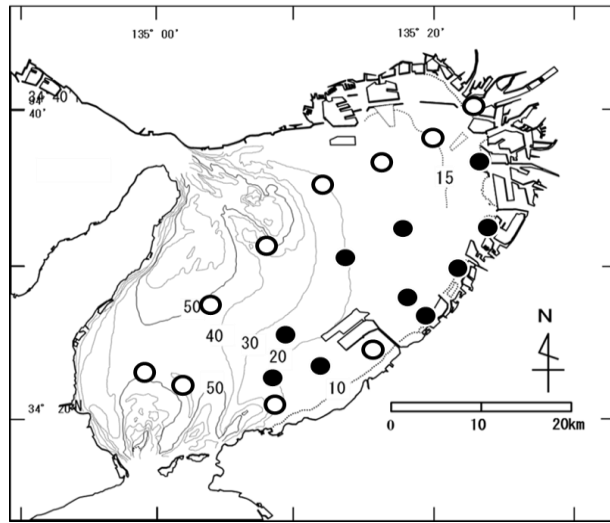


図1 シャコ分布調査定点
(黒丸は7月、9月、10月の調査点)

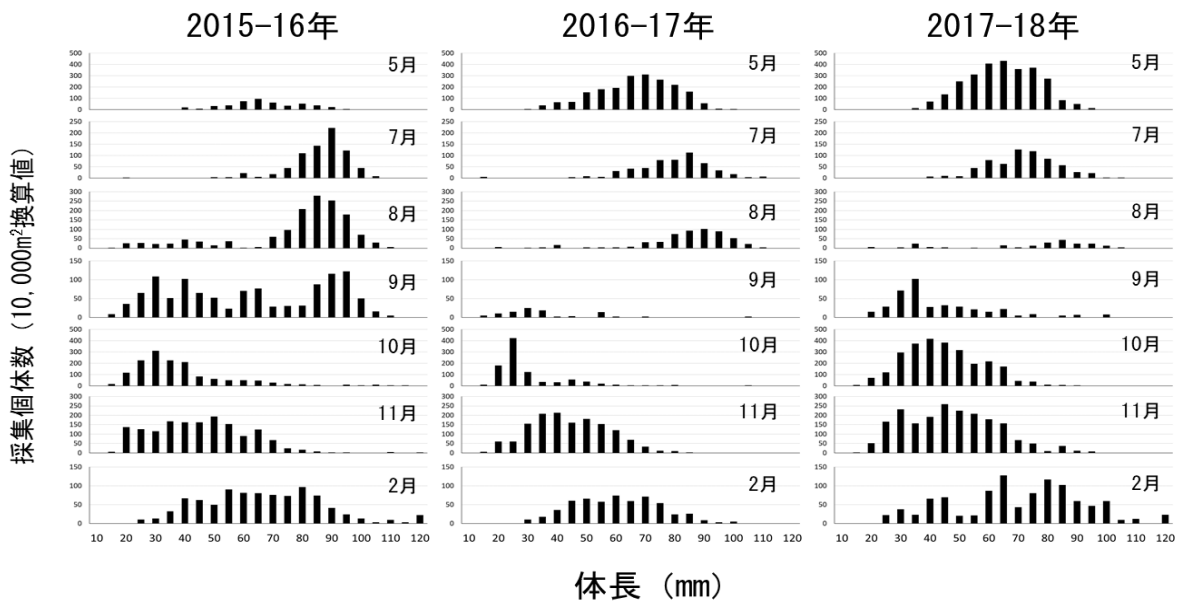


図2 分布調査で採集されたシャコの体長組成

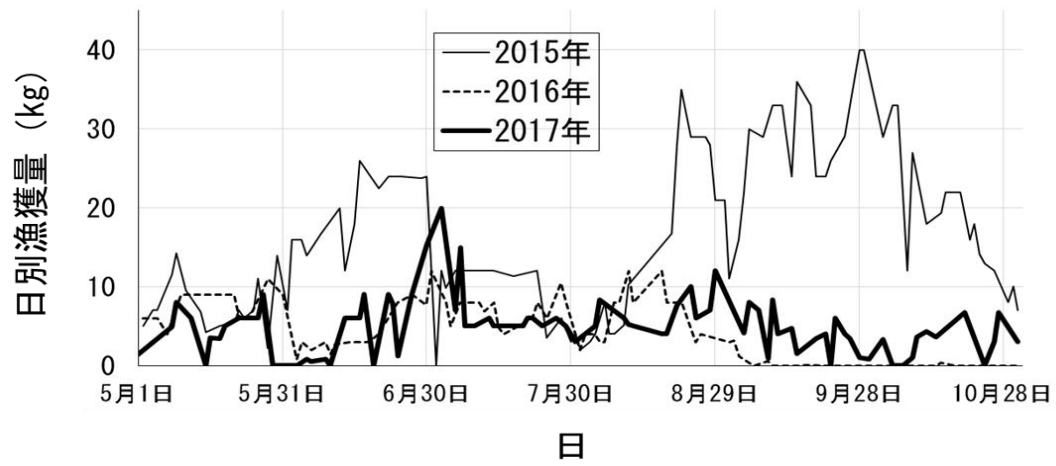


図3 石げた網標本船におけるシャコの日別漁獲量
(5月1日～10月31日)